

デジタルトランスフォーメーション(DX)による価値創造

「DNPのDX」は、「オールDNP」で独自の強みを掛け合わせていく「P&Iイノベーションによる価値創造」そのものであると位置付けています。アナログとデジタル、リアルとバーチャル、モノづくりとサービスなどのハイブリッドな強みである「P&I」(印刷と情報)を活かし、中長期の事業ポートフォリオ戦略のもと、ビジネスモデルの創出および変革を推進し、新たな価値として持続可能な社会に提供していきます。



「価値の創出」と「経営基盤の強化」の両輪で戦略を定め、DXによる価値創造を推進しています。印刷プロセスで培った情報処理技術のなかで、特にメディア変換、画像処理・認識、情報セキュリティ、ビジネスプロセスの最適化等のコア技術を活かし、さまざまな事業を展開しています。

DX推進組織

「オールDNP」の総合力で複合的かつ継続的な活動を進め、組織・風土・人材・DX基盤を相乗効果のあるDX推進組織として備えています。

DX推進組織

代表取締役社長が任命する最高デジタル責任者(CDO: Chief Digital Officer)が、全社のDX関連の取り組みを統括しています。本社に専任の「DX推進統括組織」を設置し、各事業部門および新規事業開発部門、研究開発部門、情報システム部門と連携し、全社でDXを推進する施策を実施しています。



DX人材育成

事業や業務で培ったドメイン知識を活かしながらデジタル技術とデータを活用してビジネスを組み立てる人材を育成しています。DNPグループ社員約3万人が利用できる生成AI環境を活用し、業務部門主体の生成AIによる業務革新を進めています。DXリテラシーやデザインシンキングの教育による知識・スキルの向上と、アイデアソンやハッカソンによる挑戦するマインドの醸成を図っています。さらに、DXを推進する専門人材を強化するため、「ICTプロフェッショナル制度」やDX関連資格の取得奨励制度、アジャイル開発、クラウド、AI・データサイエンスなどのより専門性の高い実践的な教育を整備するとともに、専門人材を支える人材の育成も進めています。

オープンイノベーション推進

社会課題の解決や新たな価値の創出には自社だけでなく産官学との共創・協働が不可欠です。顧客やパートナーとの多様な知見や視点での対話からイノベーションを生み出す「P&Iラボ」、スタートアップや新興企業との共創を推進する「DNP INNOVATION PORT」などを活用し、新たな価値の提供を加速しています。

デジタルを活用した新製品・新サービスの創出

メタバースで新たな体験と経済圏を創出

印刷プロセスで培った「高品質な表現技術」と「大量の情報処理能力」を高詳細3D技術へと深化させ、XR空間の体験価値を向上しています。年齢や性別、国籍などによって分け隔てられることなく、リアルとバーチャルの双方を行き来できる新しい体験と経済圏を創出していきます。



不登校や日本語の指導が必要な児童・生徒向けのバーチャル空間



メタバース役所

生成AIを活用しパートナーと新たな価値を創出

DNP独自の強みと外部連携による新たな価値の創出をめざし、生成AIの可能性を探り、社外パートナーとの共創を推進しています。

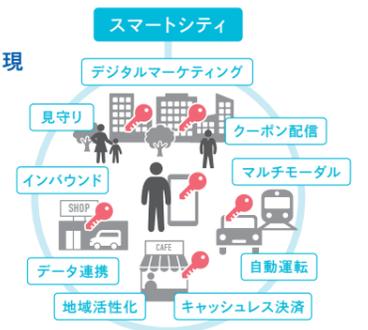
印刷データの2次利用で培ったドキュメント構造の認識技術を高度化し、生成AIの回答精度を飛躍的に向上させる独自のデータ整形技術を開発しました。各種ドキュメントの加工・整形などの知識を活用したソリューションを展開していきます。



デジタルを活用し、既存の製品・サービスに新たな価値を付加

デジタルキーで安全・安心な生活を実現

認証・セキュリティ技術を活用し、従来の物理鍵ではなく、スマートフォンによる鍵機能を提供し、情報社会における安全・安心で豊かな生活を実現します。これにより、セキュリティと利便性を両立するスマートシティの実現を推進します。



写真に関連した新たな価値を提供

プリンターメーカーに供給する熱転写記録材の製造に、サービスを付加することで、生活者中心のビジネスモデルへのシフトを行っています。プリントでのノウハウを活用し、証明写真から、マイナンバーカード交付申請、企業の社員証、Web会議やビジネスチャットの顔写真画像などと、さまざまなサービスを国内外に展開しています。



証明写真機「Ki-Re-i」

社内システムの革新とICT人材・DX人材の育成・拡充

データドリブン経営の実現と基盤の強化

企業を取り巻く環境や顧客ニーズが多様化・複雑化し、予測が困難な状況を機会と捉え、データの活用による迅速な経営判断を実現します。

デジタル化が進み、膨大な量の情報を一元的に蓄積・分析・可視化する「データマネジメント基盤」を構築し、データ民主化により、投資計画の可視化、営業における需要予測、サプライヤーリレーションシップ強化など、活用範囲を拡大しています。

「モダナイゼーション」「グローバルイゼーション」「AI・テクノロジーを活用した社員のデジタル活用能力拡充」とあわせて、DX基盤の高度化を進めていきます。



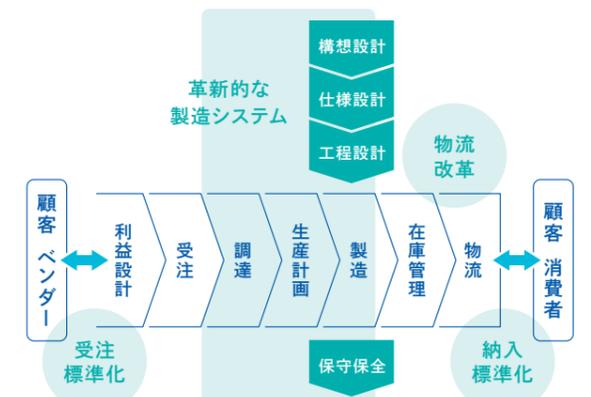
ノーコード開発で価値の創出を加速

アイデアや構想を早期に具現化することで、新製品・新サービスの創出や企業変革を加速します。ノーコード開発ツールを積極的に活用し、プログラミング未経験者がアイデアを出すだけでなく自ら実装する新たな業務プロセスを確立しています。本取り組みが評価され、「第2回日本ノーコード大賞」の優秀賞を受賞しました。

工場のスマート化による生産性の飛躍的な向上

デジタルツインによる生産の最適化とサプライチェーンマネジメント強化

労働人口減少による人手不足に対応した工場のスマート化に取り組んでいます。製造データの活用に加え、熟練技術者の暗黙知を形式知化したデータを活用することで生産ライン設計・運用の革新を図ります。バーチャル空間上で工場のシミュレーションを行うデジタルツインにより、生産ラインを飛躍的に最適化します。また、生産ラインからのデータ取得、蓄積、AIによる分析、生産ラインへの適用のサイクルを確立し、工場のスマート化を継続的に実行していきます。



物流2024年問題、自然災害や感染症リスク、カーボンニュートラルへの取り組み等へ包括的に対応するために、工場単独のスマート化に留まらず、サプライチェーン全体に高度なデータ活用を拡張します。生産計画の柔軟性と製品の市場投入までの時間短縮などを実現するとともに、省エネや資源循環、製品リサイクルなどの社会課題解決へ積極的に貢献します。